

カーボンニュートラルの推進は、世界的な課題であると同時に、私たちの身近な問題でもあります。国の削減計画を踏まえ、石川県でも温室効果ガスの削減目標を引き上げることとしました。(2013年と比較して、2030年の削減目標をマイナス30%→マイナス50%)

住宅については、高断熱やヒートポンプなど省エネ機器の普及と、太陽光発電の設置等による創エネにより、消費エネルギーと創るエネルギーの収支がプラスマイナス「ゼロ」となる住宅の普及に取り組みます。



※エネルギー収支ゼロ住宅(ZEH(ゼッチ))の県内普及率は14%で、全国平均の24%を下回っています。

ZEHのモデルハウスとして「いしかわエコハウス(金沢市鞍月2-1)」の機能強化、新築やリフォームの際に、国の制度に上乗せした県独自の支援制度の創設により省エネ住宅の導入を後押しします。

TOPIX 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」について

内閣府が支援する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」という組織があります。これは、「日本の経済成長のためには、女性の活躍は欠かせない。活躍を加速するために組織トップのコミットメントが重要」との想いにより平成26年に企業経営者等により発足しました。現在は、企業経営者等や知事、市町村長の方など、約270名が参加しています。馳知事も参加されています。

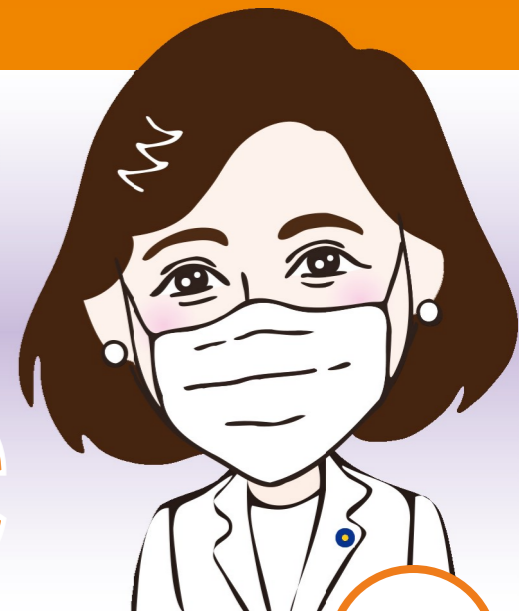


同会では、男性リーダーが、女性の意欲を高め、能力を開発・発揮できるよう取り組みます。異なる視点により良い価値を生むことや、女性の登用割合の向上など、各組織において男性中堅リーダーの意識変革を進めます。

石川県では、従前から取り組んでいる「石川県男女共同参画推進条例」等の課題を踏まえ、2021年に「いしかわ男女共同参画プラン」を策定しました。男女が共に活躍できる「3つのC」→意識を①チェンジし価値観を認め合う。あらゆる分野に②チャレンジする。活躍する③チャンスを広げる。により、共同参画社会を目指します。

石川県議会は、定数43人のうち、女性は3人と少ないです。馳知事は、女性の割合を気にする・皆に問いかけるなど、男性の意識も変わってきていると感じています。女性の人数は少ないですが、声を大きく!何倍にもして県政課題に取り組みます。

# Voice Mari's



2022年  
秋冬号

発行:太郎田まり事務所 金沢市大手町9-30 トミタビル201 討議資料

石川県議会9月定例会が閉会しました。今回は、①豪雨・地震災害からの復旧復興、②コロナの感染対策と事業者支援等を議論し、補正予算を組みました。災害については、従前から継続して河川改修、堆積土砂の除去等を行っていたものの、8月の豪雨では氾濫も発生してしまいました。第一に被災された方の応急救助と生活再建を支援しました。そして、今後備え氾濫原因の検証を進めるとともに、さらなる治水対策や緊急輸送道路の整備等も進めてまいります。コロナや物価高騰対策については、中小事業者への支援金、飲食店応援食事券、農業者さんへ飼料購入支援など、現在の事業を支援するとともに、省エネ推進など、将来に向けた発展・事業拡大の取り組みを支援します。

10月29日、加賀友禅大使、ミス加賀友禅と地方創生も担当する岡田直樹大臣を表敬訪問しました。伝統工芸の継承には支援が必要な事を伝えると、岡田大臣からは、現代の風を吹き込み往年の繁栄を取り戻したい。との考えを聞かさせていただきました。魅力を高めることは、賑わいも生まれます。現在、金沢城二の丸御殿の復元整備に向け、調査が進められています。史実性の高い復元をすることで、伝統工法を次世代に継承し、新たな魅力の発信を行います。また、国民文化祭(2023年秋)や北陸新幹線県内全線開業(2024年春)も見据え、近隣県との広域観光PRにも取り組んでいます。インバウンドについては、小松空港国際線の再開準備、旅行会社への働きかけを行い、一層の賑わい創出に取り組みます。



国会議事堂前



銀座2丁目にあるアンテナショップ

最後に、県議会議員2期目の任期も残り半年を切りました。振り返ると、暮らし、経済、子育て、文化、安全対策等、幅広く議論してまいりました。共通して言えるのは、**未来を見る、未来を創る**ことだと考えています。産業の新たな取り組みや金沢城復元などは、何十年、何百年も後世に引き継がれる歴史創りです。この取り組みは継続することが重要です。皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、これからも引き続きご支援くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

太郎田まりサポーター募集中!

太郎田まりのサポーターを大募集!  
ご登録くださいましたら、活動のご案内・報告をさせていただきます。  
お友達の紹介もお願い致します!  
←のQRコードより、登録をお願い致します。(グーグルフォームが開きます)  
▼ご登録内容はコチラです  
お名前(ニックネーム可)、メールアドレス、お電話、お住まいの地域、関心事項、ご意見



**ご注意** 還付金詐欺や、架空請求詐欺が発生しています。一人で判断せず必ず相談しましょう。警察では、通話録音警告機の無料貸出もしています。詳しくは県警HPをご確認ください。



お困りごとやご相談は、  
ご遠慮なく電話や  
FAX・メールで  
ご連絡ください。



石川県議会議員  
**太郎田まり**  
〒920-0912  
金沢市大手町9-30 トミタビル201  
TEL: 076-224-5501  
FAX: 076-224-5502 新アドレス  
Mail: ishikawa@tarouda-mari.com



石川県議会議員 **太郎田真理**

## 議会だより

令和4年9月定例会では、主に次の内容について議論し、補正予算を成立しました。



### ① 8月の豪雨災害からの復旧・復興

小松市や白山市で観測史上最大となる雨量を記録し、住宅や道路、農地などに甚大な被害が発生しました。被災者さんには、災害救助法の適用による応急救助や、被災者生活再建支援法の適用による住宅再建の支援を行います。

被災事業者さんには、専門家の派遣を無料かつ回数上限の撤廃、機器整備や販路開拓の補助金、低利の融資制度を創設します。

被災農業者さんに対しては、農業機械の取得や修繕、生育回復経費を助成します。

今後に備え、県下全域の河川を総点検し、38河川で堆積土砂の除去を行います。また、抜本的な河川改修として、河川拡幅等を県下全域で促進します。

### ② 6月の能登地方を震源とする地震からの復旧・復興

最大震度6弱を記録した地震により、住宅や道路、河川、農地などに甚大な被害が発生しました。既に応急復旧を講じていますが、今後も被災市町と連携して本格復旧・復興に全力で取り組みます。被災した道路や河川、農地、林地、高齢者施設、県立学校等の早期復旧に取り組みます。

被災事業者さんに対しては、専門家派遣制度と機器整備や販路開拓の補助により再建を支援します。

### ③ 新型コロナウイルス感染症対策

感染力が極めて強いオミクロン株BA.5の影響により、かつてない規模・スピードで感染が急拡大し、未だ収束が見通せない状況です。

幸い重症者は少ないものの、病床使用率は5割以上の日が続きました。県としては、医療機関の協力を得て病床を最大504床まで確保し、患者さんの受け入れに万全を期しております。

また、発熱外来が逼迫しないように、休日当番医の拡充や抗原検査キットで自己検査いただける体制を整えたほか、重症化リスクの低い無症状の方が自己検査で陽性となった場合、医療機関を経ずに自宅療養ができるように、「陽性者登録・フォローアップセンター」を設置します。

### ④ 事業者への支援と成長に向けた後押し

コロナ禍や原油・物価高騰等により厳しい状況にある事業者さんを支援します。

中小企業者さんには、6月の補正予算に引き続き、事業復活支援金の確保、飲食店応援食事券の期間延長、借り換え融資制度等を創設します。

農業者さんには、肥料・飼料価格の高騰に対し、国の支援に加え、県独自に上乗せ支援を行い、営農継続を後押しします。

その他、伴走支援強化（※トピックス参照）、賃上げの取り組み支援を行います。

### ⑤ 石川の将来の飛躍・発展に向けた取り組み

カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速するため、エネルギーの消費と創出の収支がゼロとなるZEH（ゼッチ）住宅の普及に取り組みます（※トピックス参照）

あらゆる分野でデジタル化は急務であると考えています。知事と市長町長で構成する「石川県デジタル化推進会議」を設置し、連携して地域課題の解決に取り組みます。

熊による人身被害防止のため、AIを活用した熊検知カメラ（県内50カ所）を設置します。

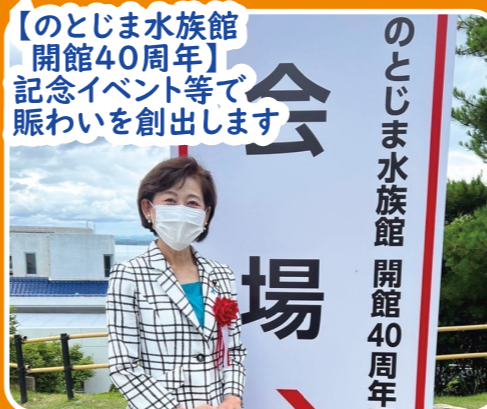
小松空港は、自衛隊との共用空港であることから、第二滑走路の必要性について、国に調査を要望しました。

## TOPIX 中小企業の成長を支援する「伴走支援」について

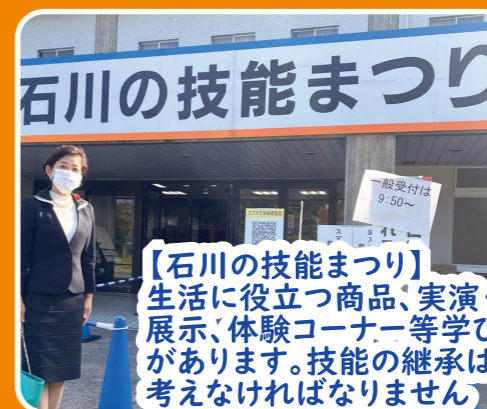
中小企業者の成長、挑戦、課題に対し、事業者寄り添って支援する「伴走支援」という取り組みがあります。主な活動として、経営状況の分析、事業計画策定、資金調達、販路拡大、生産性向上、事業承継などの支援です。

石川県では、この取り組みを強化するため、全国初となる中小企業庁等との連携協定を締結しました。今後は、国からの高度な知見を有する専門家の派遣や、さらに有益な情報提供等を行います。

～ 私には「声」がある「言葉」がある「歌」がある～



【のとじま水族館 開館40周年】 記念イベント等で賑わいを創出します

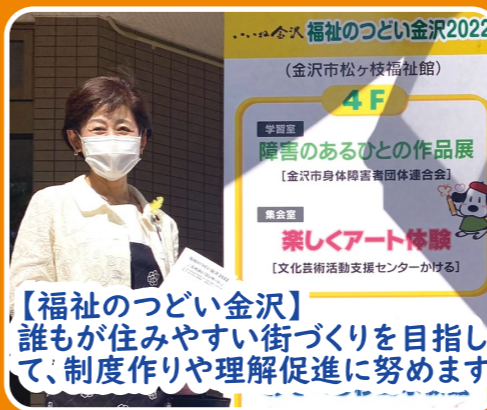


【石川の技能まつり】 生活に役立つ商品、実演・展示、体験コーナー等学びがあります。技能の継承は考えなければなりません

Mari's



Report



【福祉のつどい金沢】 誰もが住みやすい街づくりを目指して、制度作りや理解促進に努めます



【北陸新幹線PRキャラバン】 PR隊長のひやくまんさんが県内のイベントに伺います



【広上淳一 OEQアーティストック・リーダー（パネル撮影）】 さらに楽しみが膨らみます



【浅野川大橋百寿祭】 感謝の気持ちで清掃活動



【動物愛護フェスティバル】 本年より、犬猫合計6頭以上飼育する方は、届出が必要な条例が施行されました



【嘱託警察犬審査会】 プードル犬も活躍しています

## TOPIX 西九州新幹線視察レポート

10月、商工観光公安委員会として西九州新幹線を視察に行きました。長崎県の担当部署の方から課題や取り組みを伺い、石川県での取り組みを考えます。

長崎県の課題は、九州観光は福岡止まりの方が多く、新たな観光資源を探していたとの事です。新幹線による時短効果と、日本新三大夜景（長崎市、札幌市、北九州市）など新たな魅力を発信し、誘客に取り組んだそうです。

石川県は、2024年春に北陸新幹線県内全線開業を控えています。全国からの広域観光や、開業効果を県内全域へ波及するため、観光協定や他県でのPRに取り組んでいます。

加賀方面は時短効果が生まれる一方、能登方面は2次交通をさらに充実させる必要があります。魅力については、前田家や高山右近など歴史的な魅力、伝統文化、グルメなど、多様な魅力について、市町別ではなく、県全体として推すことが必要です。

見やすく分かりやすい、歴史や文化も学べるパンフレットも作り、魅力発信に取り組みます。



西九州新幹線 かもめ



長崎県担当部署の方と意見交換